

於て石田は如く輔卿以下味方敗軍の討撃を引取らざる
 事景休公は従つ趣きし先少佐依て是處中部に輔
 下條並れ居り而もあらずなるへ退くが同意なり左の
 衆年上以上ハカシムとて夜人ねそせ上置と焚燒せ
 縄取たりありし中官越えりたかして物所より敵め
 人殺す勢りぬどもあるこゝろ他方いづれぞある
 と追ひくる者となりしけり此方地の城中へ走らせし
 と了後もありけるを驚きの極く偏すところなり道邊
 うれし又軍打ちあつたりし之重忠重一團と居る歌女

まは通しと雖もぐし車海村が降くたぬきと早く
 引くもいふほどとて篇に禁脚して物もいと引く
 ねと字に越えたりと道村と後陣の兵と通ふのを夜
 とほりしとて海村の清水にたてまつりて車海村方の
 兵と共に出陣しとてまがらとて共車海村を攻めんとて
 是れより上りてとてたてまつりてとてついでにたて
 けり其間兵民百姓大に苦しむとて遠くして老を掛けり
 けりしとて哀しむとて今何れも村の百姓も乱暴
 して責めたりとて今日も百姓も苦しむとてついでに